

■ ■ 科目番号	■ ■ 教室	■ ■ 登録人数	■ ■ 履修登録方法
学共221		30	抽選対象
■ ■ 開講年度	■ ■ 期間	■ ■ 曜日時限	■ ■ 開講学部等
2025	後学期	集中	国際地域創造学部国際地域創造学科
■ ■ 講義コード	■ ■ 科目名[英文名]	■ ■ 単位数	
g00583002	実践！社会政策	2	
■ ■ 担当教員[ローマ字表記]			
高畑 明尚			

## ■ ■ 授業の形態

講義、演習又は実験、実習、実務経験講師

## ■ ■ アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、フィールドワークなど学生が体験的に学ぶ

## ■ ■ 授業内容と方法

この授業は、ボランティア学習を基本とするものです。事前学習で獲得したものを社会的な実践の現場で体験し、ボランティア自習を通して、各自で演習してもらい、成果報告書を書くことと成果報告会での成果と考察の共有で理解を深めてもらいます。

ボランティア訪問先は、担当者（高畑）の方でも用意しますし、事前学習会にも10ほどのグループや団体が参加して頂きますが、受講生各自が自分で見つけてボランティアすることの了承を取り付けてもかまいません。

事前学習会は、10月11（土）午後3時よりオンラインで行う予定です。

成果報告会は、2月の試験期間終了後に行う予定です

事前学習会と成果報告会はZoomを使い遠隔（オンライン・ライブ）にします。

受講生には、授業開始の10分前には「招待メール」を送りますので、

必ず情報処理センターのWebmailを開いておいて下さい。

（yahoo-mailやGmailなどに転送させている場合、「招待メール」が送られないでカットされてしまう場合があります。）

## ■ ■ URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決力、専門性

## ■ ■ 達成目標

- （1）ボランティアや非営利な活動・組織に対する知識と理解を持つこと。
- （2）各現場で、社会課題の解決に向けた思考を行い判断力を養うこと。
- （3）社会問題や地域課題に対する関心をもつこと。
- （4）成果報告など自分の活動や思考を論理的に説明できること。

## ■ ■ 評価基準と評価方法

事前学習会と事後報告会に参加すること、及びボランティアの実践を最低12時間以上行うことが単位取得の必須条件です。

なお、事前学習会と成果報告会は、どちらか一つでも欠席した場合には単位は出しません。

（成果報告会は、別日を設けることもあります。）

上記のいずれかを遅刻もしくは早退した場合、および

受入承諾書と保険加入証明書の事前送付を怠った場合（つまり事後送付）は、評価を1段階下げます。

なお、受入承諾書と保険加入証明書は11月30日までに提出して下さい。

受け入れ先を探しているなど、11月30日時点で提出が無理な場合には、その旨の連絡書を提出して下さい。

連絡がない場合にも評価を1段階下げます。

## ■ 履修条件

とくにはありません。

この科目の履修とボランティア実践により、社会の様々な現場と社会問題や地域課題を体験して、今後の学習や進路の開拓に役立てて下さい。

## ■ 授業計画

### 事前学習

- (1) ボランティアとはどういうものか？
- (2) NPOまたはボランティア団体が求めるボランティアの役割と体験すべきこと
- (3) 国際NGOが求めるボランティアの役割と体験すべきこと

### ボランティア実習

- (4) ～ (15)

### 事後報告

- (16) 各自の報告（試験の代わり）

## ■ 事前学習

事前学習の回でボランティアの本質や実践例について学んで下さい。

## ■ 事後学習

事後的に、成果報告書を作成し、成果報告会で各自の活動内容を報告して下さい。

## ■ 教科書にかかわる情報

教科書	書名	特になし				ISBN		備考	
	著者名								
	出版社		出版年		NCID				

## ■ 教科書全体備考

特になし

## ■ 参考書にかかわる情報

参考書	書名	特になし				ISBN		備考	
	著者名								
	出版社			出版年		NCID			

## ■ 参考書全体備考

特になし

## ■ 使用言語

日本語

## ■ メッセージ

単位の取得には、ボランティア配属組織からの活動証明書の提出が必要です。

## ■ オフィスアワー

とくにはありません。

事前にアポイントメントを取って下さい。

■ ■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

■ ■ URL